

職業調査に思う

大塚謙

さきつ、一般より職業に對するアンケートをとつた結果が中学校職業の手引書にのせられたため、大分問題を起した事が報導された。私はそのことを新聞で見たのだが、それによると大学教授を初めとし最下位の道路工夫まで二十種の職業に順位がつけられていた。表を作成した側ではやがて社会に出る生徒達に、職業を選ぶ指針として作ったまでで決して職業の価値付けをしたのではないといっているが、この様なものを作つた結果、まだ若い生徒達に「なんだちのオヤジは最低か」「な」という不必要な劣等感を抱かせるとして各方面から相当非難された。私はこの記事を読んでいるいろいろ考へさせている。私の家の近所の人達は大部分が日雇である。しかしこの人達は話をしてみると始めから日雇という職業をしていたわけではなく、又その職業に自分が一番向いていると思つていたわけでもない。いろいろな仕事に失敗したり、あるいは若い時に遊び過ぎて他につく職もなくなり、あるいは人間関係の複雑な社会において困苦しく暮すごを嫌つてこの様な職業についたのであった。だがそんな人達がすべてでは勿論ない。余りにも家が貧しかったため勉強さえも思つ様に来ず、おのずかから職を選ぶ範囲をこの様に限

人達の職業が最下位とはどうしたものであつか。子供を抱えて苦しい生活にあへてゐるこの女人達を、たとへその筋肉が重労働のため男のよつに盛り上つていたからといつて、汚れた着物を着ているからといつて、その職業に優劣がつけられる筈はない。

どんな職業であるかと云れど、それ社会においてある役割を果していることは今更いふまでもないからである。けれど、ある職業に対して優れた能力を持っているのに自分の特性を発見しようと思せず、少しの努力でその職業に就けるのに怠惰な毎日を送つていたために別の職業につかざるを得なくなつた人間がいたとし

ではないと思つのである。怠惰な精神は軽蔑されて当然かも知れない。しかし現在の社会が、真面目に努力していれば必ず自分の希望する職業につけ、個人の特性を充分に生かし得るようになつてゐるであらうか。

夜間高校を例にとつてみよう。ここには大会社からの求人などない。公平な試験の結果、才能がないと判つて落ちるものならまだ納得がいくとしても、試験を受ける機会さえも与えられないのである。まれにその様な機会に恵まれたとしても、家庭環境が悪いとか、スレているとかいっ

て本人そのものより、このやうなつまらない理由を重視し

つた者は何時までたっても才能を伸すことも出来ないうちまたその結果、世の中はすべて金次第だと思ひこみ、他人の犠牲をかえりみず金を貯めることしか考えない人間を作り出すことになるであらう。夜間生はスレているとよく言われる。

だがこのスレているという言葉の意味は必ずしも夜間生がすべてに計算的でノビノビしていないというだけではなさである。早くから社会に出て働いているのだから職業に対する認識も深いし、たまには意見はなべてであらう。それが建設的な意見であったならば、トンドン採り入れるべきであるのに、意見をきかずにいともなかなか理解してくれようとはしない。しかし我々はなかなか認められないからといって、どうせ社会はこんなものであり、自分の希望する職に到底つけないからどんな職業でも、その日その日のパンを生み出せば良いなどとかきま切つてよいものだらうか。我々に求人のない理由に学力が劣っているからというのがある。夜間生が学力が劣つていて試験を受けさせても落ちるに決つてゐるからというわけらしい。確かにこれは我々も反省せねばならない点である。

何故なら学力もないのに、いくら求人がないなどと騒いでばかりいた所で、それはひどい力を出しきつてゐるとは言えないのだから、こういう点では我々もまた頑張らなければならぬと思う。私はなにも秀才にならなければいけないというつもりはない。秀才であっても偏狭な人間であつたり、教師に文り忠実な社会に役に立たない人間でありたくない。又鈍才であれば、人間的であつて社会役に立つことは言えないのである。秀才にならなくとも自分の持つ力を余りなく出す努力は必要であるし、そのような努力をすることによつて、自分を社会に生かす道が発見されるのだと思ふ。我々が努力によつて自分を社会に生か

ほんとうに有効に使つて、自分の力を出しきつてゐるとは言えないのだから、こういう点では我々もまた頑張らなければならぬと思う。私はなにも秀才にならなければいけないというつもりはない。秀才であっても偏狭な人間であつたり、教師に文り忠実な社会に役に立たない人間でありたくない。又鈍才であれば、人間的であつて社会役に立つことは言えないのである。秀才にならなくとも自分の持つ力を余りなく出す努力は必要であるし、そのような努力をすることによつて、自分を社会に生かす道が発見されるのだと思ふ。我々が努力によつて自分を社会に生か

ゴ
ム
製
品
値
上
る

—その原因を探る

先頃は豚肉の値上りで台所に大きな影響を与えたので政府では大急ぎで生豚の輸入で一時的の応急対策をたて、おかげでこのところ値下りしてきたことは冬期に向つて需要の多いゴム履物類が一斉に原料の値上りから市価も一・二割近い値上りとなつたので又々我々の生活に脅威を来している。今この原因を探ってみよう。

周知の通り原料は生ゴムで、生ゴムなる商品は戦前もそうであったが国際商品として常に患恩の對象にされている。海外の一高一低を敏感に反映して市場価格を操作して来たゴム取引所の売買を見てもらひ、物中心より先物取引による相場の変動がはげしい。

商社は勿論メーカーすらも患恩相場を自ら作り出す傾向がある。今回の高値となつたのは需給が逼迫し現実には品枯れ状態が続いているところに原因がある。国内の在庫量は十月末で六千百トン、正常在庫の一万二、三千トンからみて約半分である。輸入にするのも急速に間に合わない。

それに商社もメーカーも先安を見越して買付けを手控え、明年は米国の備蓄生ゴム(四十万トンと称される)が大量に放出されると云われるので生ゴム相場の天井は突いていると見通しているようだ。従つて慌てて買付けようとしな

着荷まで一、二月月かかる。このような事情から推しても品枯れは益々深刻になる。今日では生ゴムの輸入は自由である。自動承認制であるから需給に見合った輸入はいくらでもできるはずであるが、患恩相場に喜んでいる業界の一部には、海外のゴム不足を声高に宣伝して正常輸入をけん制している向もある。

需要面のタイヤ、チューブ、履物の需要は昨年比し大市に増え大体十九万二、三千トンと推定され、明年は三十二万トンと見込まれている。昨年比では二割・三割近い増加となつてゐるわけである。従つてこの需要増勢からみれば、来年は輸入量より生ゴム

昨年六月頃のポンド当り八十円台であつたものが現在では現物が二百三十円台で十二月先物が百六十円前後を鳴えている。現物は二倍の値上りであり、先物でも二倍の騰貴となつてゐる。

このような高値に対しメーカーはその割に製品価格を大市に引上げることもできず、採算は悪化するしと云つた事情で溜息ばかりしておれないので、今更思ひ切つて値上げに踏み切つたわけである。

我々の身近かなゴム履物類は一割・一・五割の値上げになるうが、履物類は長靴、布靴、地下足袋など生ゴム使用量の多い製品だけに止めること云々

次回は……抽せん12月21日

1等	200万円	12月12日より発売 1枚 100円
2等	100万円	第127回関東 東北自治 宝くじ

受託 日本勧業銀行

市等を訪れ、三十五年年度の生徒募集人員を本年度と同数を確保してほしいと陳情した。中学生の高校進学希望者は年々増加の一途で本年の募集定員は十四校で二千九百名だったが、進学希望者は二倍に近い四千七百六十六名もあったため、各高校とも十％増の三千四百九十名を入学させた。これは臨時措置で三十五年度はまた之の二千九百名に減ぜられることになった。

一方三十五年年度の入学希望者は今年を上回る五千名が予定されており、平立高校の設立促進も思わしくなく、ぜひ共今年同様に募集定員を増し、てもらいたいというもの。

高級
メリヤス
洋品

洋品の
ツルヤ

平市四丁目電 4540

クツの王様

レックス・フレックス

従来のクツよりぐつと
軽く弾力性がありとて
も快適です

素晴らしい人気

靴の **スガタ**

本店平市銀座街電4604
支店平市二丁目電4059

平市公園内 電二二六

とまわ

忘年・新年宴会
予約承ります

ふぐちり
ふぐさし

松東樓
辛亥 五月九日

うなぎの

精神科 神経科 内科
新田目病院

精神衛生無料相談
財団法人 石城精神医学研究所

初冬の装は

百 合 で

化粧品・洋品・アクセサリ—
平駅前大通 T5721

靴鞆・ハンドバック
平市二丁目 T5722

帽子
平市三丁目大通T5723

急告！！

すみたに家具店

工場 平市尼子町専売公社前

小兒科

三井医院

院長 三井五郎
平市田町 電二六一五

大きな社会問題に

市議夫人も失対人夫

第三者の

御厩温泉

内郷市御厩に大量の
温泉を放流している
ことは貴重な国家資
源の放棄であるとい
は常磐総合開発の診
断の結果の結論であ
るが、常磐市はこの

第三者の利用に反対

磯野常磐市長ら出県陳情

ほとこの御殿の温泉は第三者
 の利用には反対だと線を打ち
 出し、磯野常磐市長、村上開
 業理事長は出馬し佐藤知事、関
 係各課長らに反対の申し入れ
 を行った。同時に内郷市にも
 反対の立場をとるよう同調し
 て欲しいと要請した。これは
 磯野市長、小井戸市会議長、
 吉田会議所会頭、比佐観光協
 会長の連署によるもので、常
 磐炭鉱の温泉利用については
 湯本財産区との契約（自噴温
 泉の枯渇、鉋害による損害補

平鉄工協
再建
大業

近く県が企業の診断

從來膏盤炭礦と古河好間炭礦など大手筋の仕事が、自家生産に切りかえられたので打撃が大きい。打開策に五カ年計画を樹て老朽化した機械を新時代的なものに更新しなければならぬ。

同時に目下目論んでいるやう大きな仕事を持つて来ようとしている。積極的いろいろな手を打て行けば再建は成るものと確信している。

同支部はなかなか活発な活動をやっており先般は映画会を開催してその純益から草野小中学校体育館落成にあたり電池時計を寄付するなど地域社会のため支部員が一致して貢献している。

珠算競技会

支部（支部長下平衛氏）では、過般役員会を開き三十五日一月十日草野小学校で第六回珠算競技会を開くことにした。同支部はなかなか活発な活動をもっており、先般は映画会を開催しその純益から草野小学校体育館落成にあたり電池時計を寄付するなど、地域社会のため支部員が一致して貢献している。

もの知り帳

みせ

A cartoon illustration of a man with a very large, prominent nose and a small body. He is wearing a simple shirt and pants. He is holding a large bag or sack over his shoulder, which has the Japanese character 'もの' (thing) written on it. He is pointing his right index finger towards a small pile of coins or money on the ground. The background is plain white.

鎌倉時代の中ごろから大名領内の要所には宿場町が、港には藩町が発達したが、神社や寺院の門前には参詣人があふれる（これに参詣人があふれる）ために市が立ち門前町ができた。そして門前町には参詣者はさんで参詣人のための

は、はじめの道に面して棚を張り出し商売を並べていたが、この時代末ごろには張り出しを止めて店頭を解放し、客の出入りやできよくなった。長のものや、すだれをつるすこともはじまった。これが「

鬼門は方角で、東北の間をいう。中国の方位字では「艮」という符号を用いているが、また十干・十二支に配当する説を立てて、「丑寅」にあて、「艮」という字も「うし」と

」と読んでいる。

う山があつて、そこに枝張り
三千里という桃の木がある
そして南の枝の花が散つてか
ら北の枝の花が咲く。また東
北の枝がうすくなつて、門の
つなになつてゐる。そこを鬼門
といつて、たぐさんの鬼が出
る。そこを鬼門といふのである。
くが、北は日当りがよくない
ので枝の茂りもわるく花もお
少い。うすに暗くて陰氣だ。そ
んなところから考へて、い
かにもおもひのつて話であ
る。しかもこれは印度から中
國に云つたものである。

ある。寒に妙案だ。年中行事
の節分の「鬼やらい」なども
いわれは、ここに落つきそ
うである。世はあけて人工衛
星時代である。迷う人もある
まいとは思つが、まずは念の
ため。一筆（公野 作山眞男）

の勘定がどうなっているのかわからなくなり、勿業職安でもお手あげだという。賞金は一日最高四百七十円、三百円以下の低賞金もあり、閉山になると二万一二万くらい安い退職金で山を追はれるので、五人の家族をかくえて途方に暮れる。主婦たちは毎々一日百八十円で磐城市のことになった。

平専門店会の チケッ
ト祭りは十一日から正月十日
まで行う。期間中の買上げは
全部六カ月払いとして取扱う
ことになった。

平の代表的土産品

平の生んだ世界的作曲家八橋検校の
作曲せる名曲「六段の曲」を記念する

中 最 大 的 銀 票

六段本舗 平 凡 平 駅 前
電 2 5 0 9

者の
皆様へ直接サービス
火持のよい・すすの少ない・灰のない

大日本
勿来
磯原
炭

達配時即
久世商事K 勿來市駅前 電二五
平營業所 平市四丁目電五三二九
磐城營業所 磐城市隼人電二七八五

甘左郎燒

真根井菓子店

平市銀座通り 電四〇二五

割
亥
日
酉
申
重
二
三
〇
四

漆 額 美 雜 仙
器 橡 品 術 貨 具

小松漆器店

小松錦治

平市一丁目電三一九二

特別提供品

伊達巻代用帯 一本五〇円也御一人一本限り
トッパー生地(米)百二十円也御一人様五米限り

小野栄服店

平市四丁目電二五一五・五五二二

大衆のデラックス

大キヤバレ

フ
ラ
ワ
ー

平市田町電二〇〇四・五四四一

5

既製服なら

盛高屋

平市3丁目・TEL.3608

時代と共に...

グラスを手に…
はつ冬の
夜のひととき
君と語らん
夢を…
むかしを…

コーヒーと洋酒の店

ムーン・レイ

平市丁目 TEL.2888

